

評価欄について

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	当該科目の到達目標の内容をほぼ完全に修得し、かつ応用する力がついていると認められる。
A	80～89点	当該科目の到達目標の内容を十分に理解し修得したものと認められる。
B	70～79点	当該科目の到達目標の基幹部分は理解し修得したものと認められる。
C	60～69点	当該科目の到達目標のうち、最低限の理解は得られたものと認められる。
F	0～59点	当該科目の到達目標に及ばない。

■ レポートと科目試験の関係

- (1) 単位は科目試験の合格とレポートの合格により認定されます。
- (2) 科目試験が合格し、レポートが「D」(再提出)の場合は、合格した試験日より1年以内にレポートを提出し、そのレポートが合格しないと科目試験の合格も無効となり、再受験しなければなりません。評価が「D」のレポートは継続的に学修を続け、2週間を目安に再提出してください。
- (3) 教員採用および在籍期限により3月末や9月末までに修得単位が反映された証明書が必要な学生は、レポートの添削に概ね30日程度を要しますので、3月末の場合は1月中旬、9月末の場合は7月中旬までに提出し合格しなければなりません。
- (4) レポートの合格は在学期間中においては年度を超えても有効です。

単位認定について

科目試験評価	レポート提出状況	単位認定	
S～C	合格	認定	
S～C	提出済	保留	レポートの返送を待ってください。
	D(再提出)		レポートを再提出してください。
F	合格	認定せず	科目試験を再度受験してください。
F	D(再提出)	認定せず	レポートを再提出、科目試験を再度受験してください。

■ 参照物の取り扱い

テキスト等(インターネットを含む)の参照は不可とはしておりません。ただし、答案作成時にテキスト等を引用する場合は、レポート作成時と同様に引用の表記を必ず行い、引用であることを明確に示してください。引用表記のない答案は、減点対象になることがあります。

■ 受験上の注意

- ・不正行為防止の観点により、試験中に他者が同室にいないようにしてください。
- ・一度提出操作を完了すると時間内であっても、修正、再提出はできません。
- ・答案の作成の途中でも終了時間になると提出ができなくなります。
- ・受験者の環境不調(通信トラブル)が原因で正しく受験できなかった場合は、再受験や時間延長の対応はできません。
- ・大学のシステム上の問題により、受験できなかった場合は、代替の対応を検討させていただきます。
- ・全国規模での通信障害が発生したことにより試験が実施できなかった場合は代替の対応を検

討させていただきます。

- ・試験中、大学のシステムに問題が生じた場合、また、全国規模での通信障害が生じた場合などはWebTAMAから状況をお知らせすることが困難になります。システムが復旧するまではお待ちいただき、復旧後、WebTAMAの「お知らせ・個人連絡」に掲示される連絡事項を確認のうえ、試験の続行、または別時間、別日での試験実施にご対応ください。

なお、WebTAMAからのお知らせの配信が困難な場合は、MyPCアカウント票の「電子メールアドレス」(@stu.tamagawa.ac.jpのドメイン)にお知らせを配信するので、WebTAMAまたはTeamsのOutlookメールのいずれかを確認するようにしてください。

- ・提出した答案データは、評価が確定するまでは破棄せずに保存しておいてください。

不正行為

主に次の各項に該当する場合は、不正行為となります。

- ◆他人の答案を見たり、他人に見せたりすること（カンニング行為）。
- ◆他人に受験を代行させたり、他人の受験を代行すること。
- ◆他人の助力を得て答案を作成すること。
- ◆参照を許可された書籍・ノート類を貸し借りすること。
- ◆答案作成の際、適切な引用を行わず剽窃を行うこと。
- ◆その他不正な手段を用いて受験すること。

科目試験において不正行為が行われた場合には、玉川大学教育学部教育学科通信教育課程規程第33条および試験等不正行為の処置・処分に関する規程（内規）に基づき、処分します。

なお、処分された場合、数ヶ月間の学修停止（事務手続きも含む）および試験期間中の全科目が無効となり、以降の学修計画に多大なる支障を来すこととなります。

緊急事態発生の場合

災害等、緊急事態の諸事情により、Web科目試験が**実施できない**ことがあります。その場合は、対応について後日あらためて「WebTAMA」より掲示いたします。

また、災害等、緊急事態の諸事情により、Web科目試験が**受験できない場合**は、慌てずまずご自身の身の安全を確保することを優先してください。その回の試験の取り扱いについては、後日「WebTAMA」に掲示いたします。

次回試験に向けての前回受験科目の取り扱い

結果が判明していない場合でも、その未判明科目を次回試験に申込みできます。次回試験の受験許可科目確認時までには結果が判明していない場合は、受験許可として通知し、次の取り扱いとします。

- ・ **【合格】**（評価がS・A・B・Cのいずれか）となった場合
当該科目は受験の必要はありません。また、別科目への変更もできません。
- ・ **【不合格】**（評価がF）となった場合
当該科目を受験できます。
- ・ 受験日前までに前回の結果が**【未判明】**の場合
当該科目を受験してください。なお、両方とも合格した場合には、前回分の結果を有効とします。